

業績推移 (単体情報)

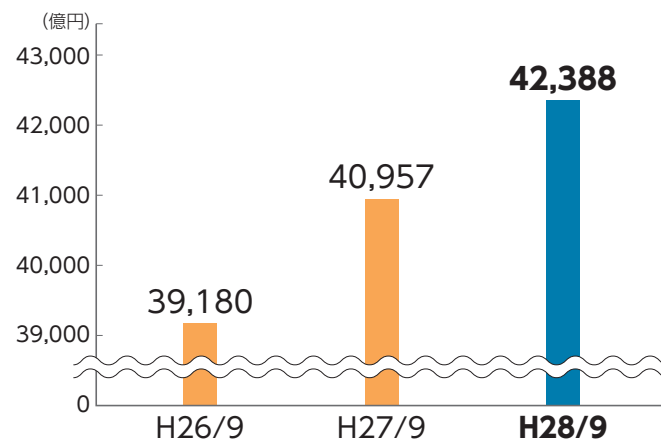
業績ハイライト

平成28年9月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。
また、収益面では、経常利益は101億74百万円、中間純利益は66億99百万円となりました。

| 預金残高

4兆2,388億円
(年間増加率3.4%)

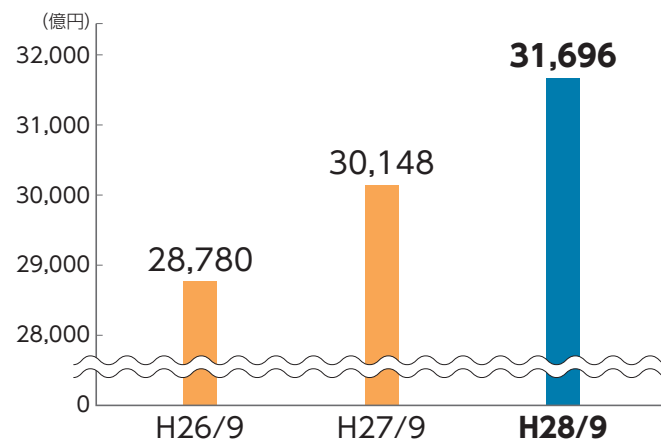
給与振込や年金振込の取引拡大による個人預金の増加のほか、法人預金も残高を伸ばしており、前年同期比1,430億円増加し、4兆2,388億円(年間増加率3.4%)となりました。



| 貸出金残高

3兆1,696億円
(年間増加率5.1%)

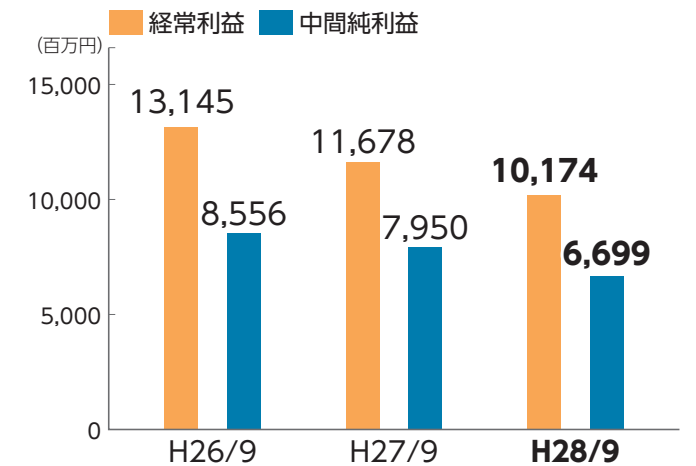
住宅ローンを中心とする個人向けや、中小企業向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前年同期比1,547億円増加し、3兆1,696億円(年間増加率5.1%)となりました。



| 経常利益・中間純利益

経常利益 **101億円**
中間純利益 **66億円**

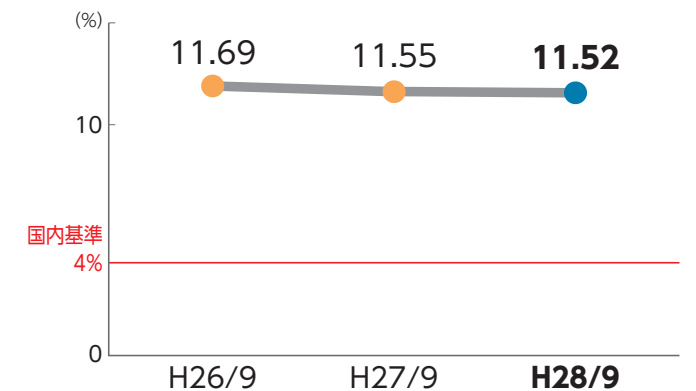
経常利益は前年同期比15億4百万円減少し、101億74百万円、中間純利益は前年同期比12億50百万円減少し、66億99百万円となりました。



| 自己資本比率

11.52%

自己資本比率は、前年同期比0.03ポイント低下し、11.52%となりました。なお、平成28年5月に自己株式300万株(12億69百万円)を取得しております。

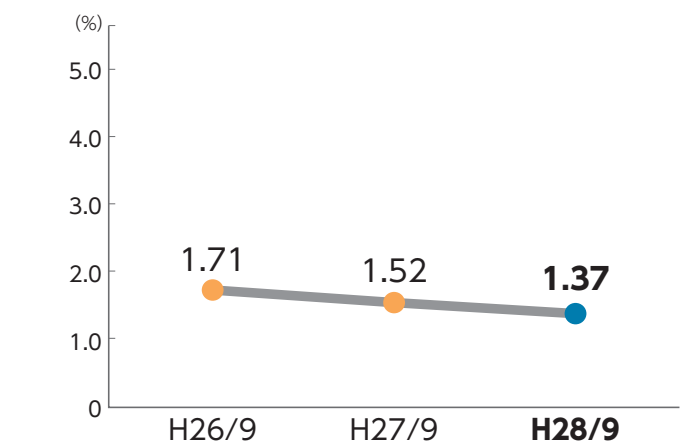


| 不良債権比率 (金融再生法基準)

1.37%

お客さまの経営課題に対して経営改善支援等のコンサルティング機能の発揮に努めた結果、金融再生法基準の不良債権比率は前年同期比0.14ポイント改善し、1.37%となりました。

※不良債権比率は、数値が小さいほど健全性が高いことを示しています。

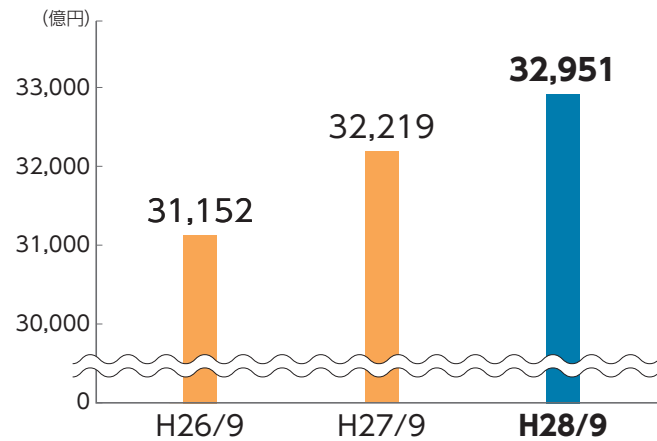


業績推移 (単体情報)

| 個人預金残高

3兆2,951億円

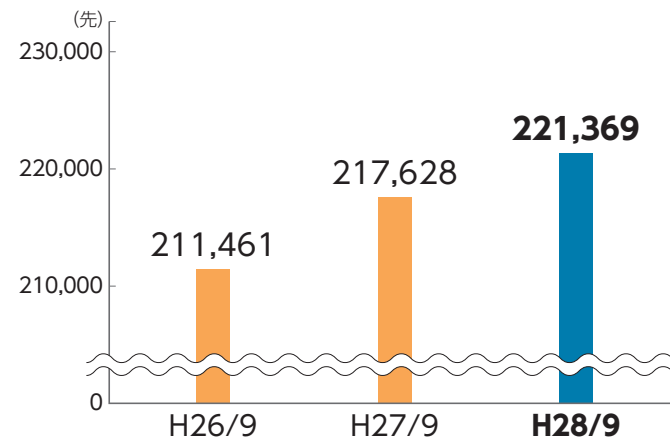
年金受取指定先数および給与振込指定先数が順調に増加したこと等により、個人預金残高は前年同期比732億円増加し、3兆2,951億円(年間増加率2.2%)となりました。



| 年金受取指定先数

22万先

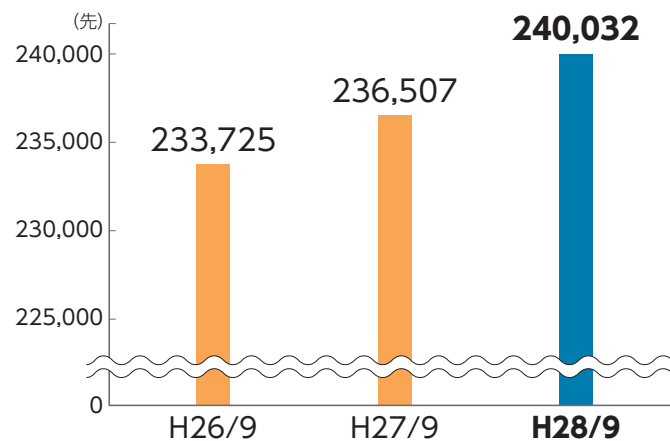
社会保険労務士による個別年金相談会や年金セミナーを開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求書作成等のサービスなどが、ご好評いただいています。年金受取指定先数は年間で3,741先増加(年間増加率1.7%)しました。



| 給与振込指定先数

24万先

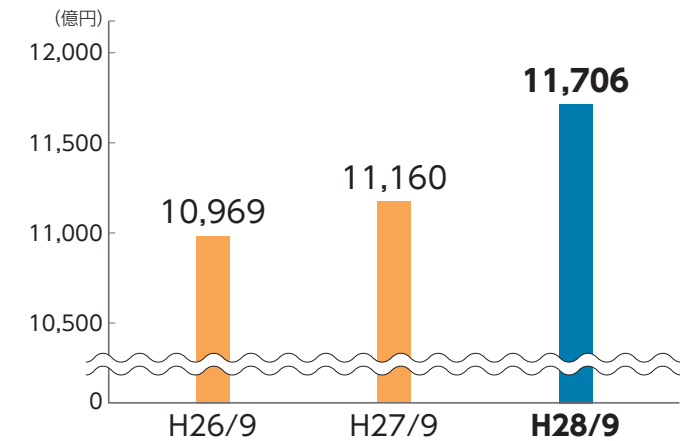
住宅ローン等をご利用のお客さまを中心に給与振込のご指定をいただいています。また、若年層の方々に向けた、給与振込のキャンペーンも実施しています。給与振込指定先数は年間で3,525先増加(年間増加率1.4%)しました。



| 中小企業向け貸出金残高

1兆1,706億円

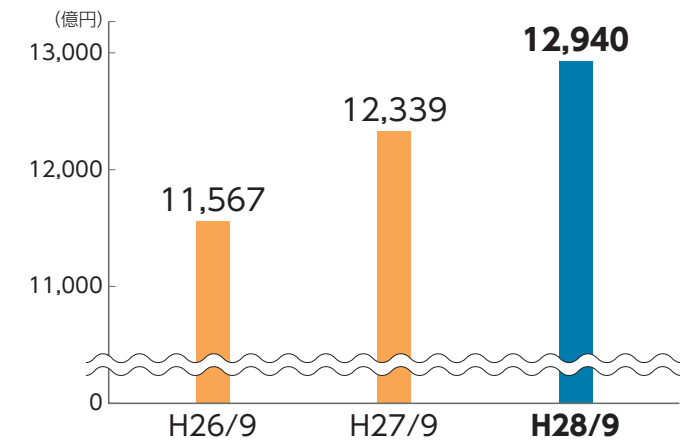
成長分野を中心に中小企業のお客さまへの貸出に積極的に取り組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は前年同期比545億円増加し、1兆1,706億円(年間増加率4.8%)となりました。



| 住宅ローン残高

1兆2,940億円

お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は前年同期比601億円増加し、1兆2,940億円(年間増加率4.8%)となりました。



| その他ローン^(※)残高

397億円

お客さまのニーズに応じた幅広い商品ラインナップを取り揃えたほか、お申込みチャネルの利便性を高めた結果、その他ローン残高は前年同期比50億円増加し、397億円(年間増加率14.5%)となりました。

※ 住宅ローンを除く消費者ローン

